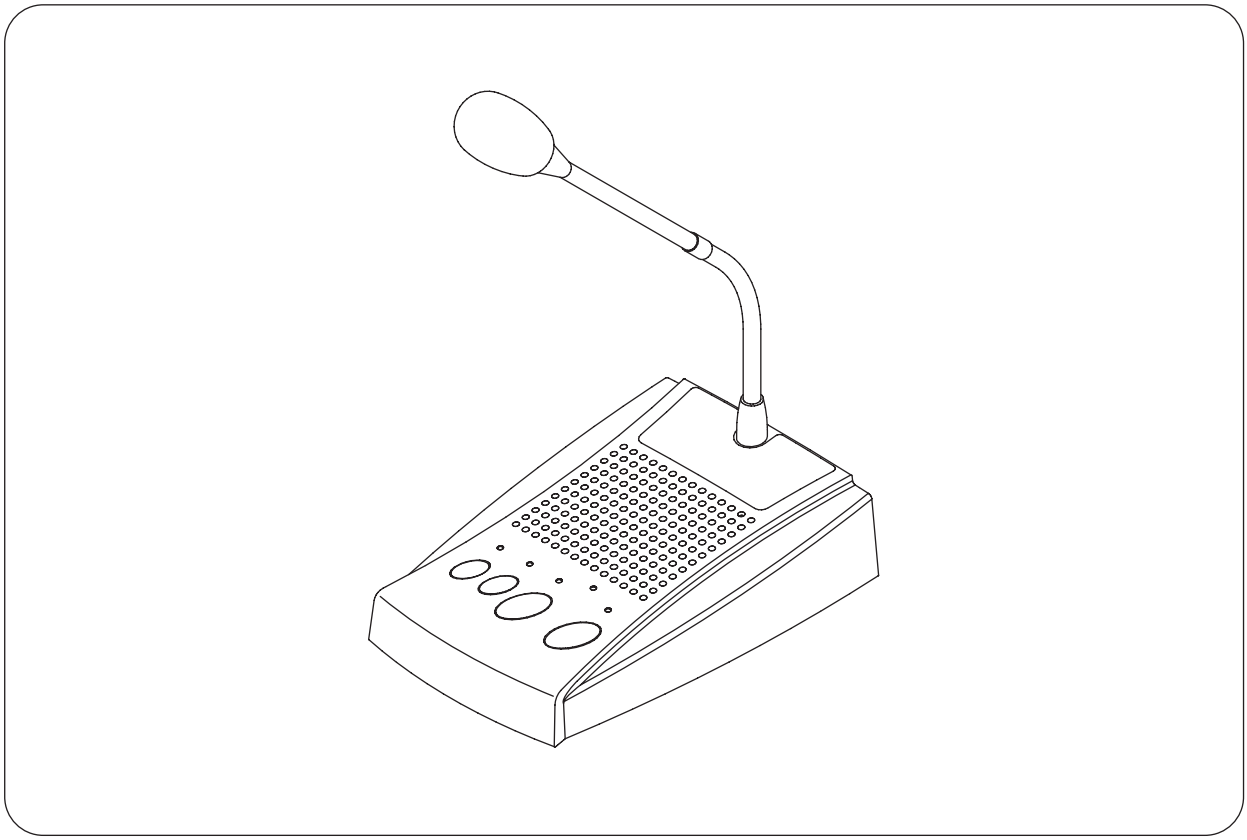
TOA

取扱説明書

サウンドリピーター　PM-20EV



このたびは、TOA サウンドリピーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目　次

安全上のご注意 …… 3

概　要 …… 5

特　長 …… 5

使用上のご注意 …… 5

各部の名称とはたらき …… 6

放送の遅延時間とビジー出力 ON/OFF を設定する …… 8

チャイムの有無を設定する …… 8

操作のしかた

- 録音する（REC） …… 9
- 録音内容を確認する（MONITOR） …… 9
- 録音内容を放送する（PLAY） …… 10
- 直接放送する（TALK）
  - トーク動作切換スイッチが ON のとき（工場出荷時） …… 11
  - トーク動作切換スイッチが OFF のとき …… 11

接続のしかた

- 接続例 …… 12
- 外部マイクを接続する …… 12
- 後面コネクターへの結線 …… 13

付属ソフトウェアを使用するとき

- システムの条件 …… 14
- CD-ROM のファイル構成 …… 14
- ソフトウェア使用上のご注意 …… 15
- ソフトウェアのインストール
  - USB ドライバーのインストールのしかた …… 15
  - データ転送ソフトウェアのインストールのしかた …… 18

仕　様 …… 19

- 付属品 …… 19
- 別売品 …… 19

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号		行為を強制する記号	
禁　止	接触禁止	強　制	電源プラグを抜け

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強　制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

AC アダプターは専用品を使用する

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

本機は、放送内容をあらかじめ録音してから再生放送できるページングマイクロホンです。
放送する前に録音内容を確認できるリハーサル機能が付いていますので、間違いのない確実なアナウンスができます。
また、本機のマイクロホンを使用することにより、再生放送せずに、直接放送することもできます。

特　長

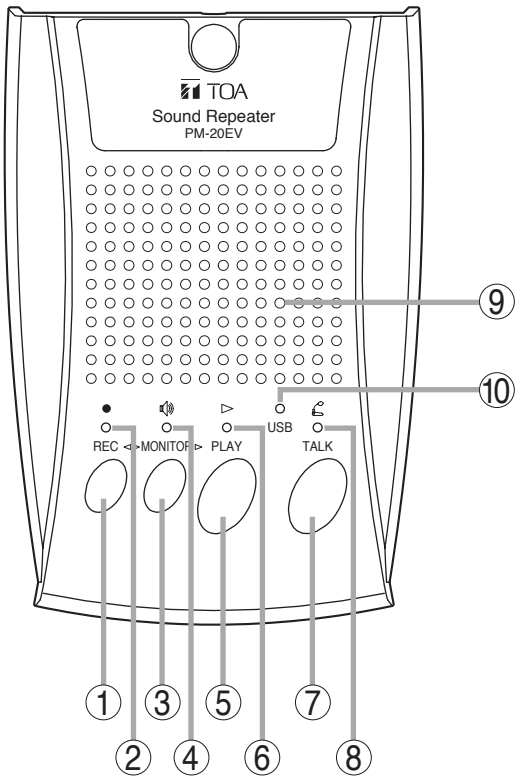
- リハーサル機能があり、放送時の心理的圧迫感を和らげることができます。
- モニタースピーカーを内蔵しているので、録音した内容を放送前に確認できます。
- 簡単な操作で、6 分間の録音・再生ができます。
- 録音データに圧縮処理を行っていないので、高音質です。
- 放送の前後にチャイムを付加することができます。
- 付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続し、内蔵チャイムを変更したり、メッセージを書き込んだりすることができます。
- コンプレッサー回路を内蔵しているので、過大入力による音の歪みを防ぐことができます。

使用上のご注意

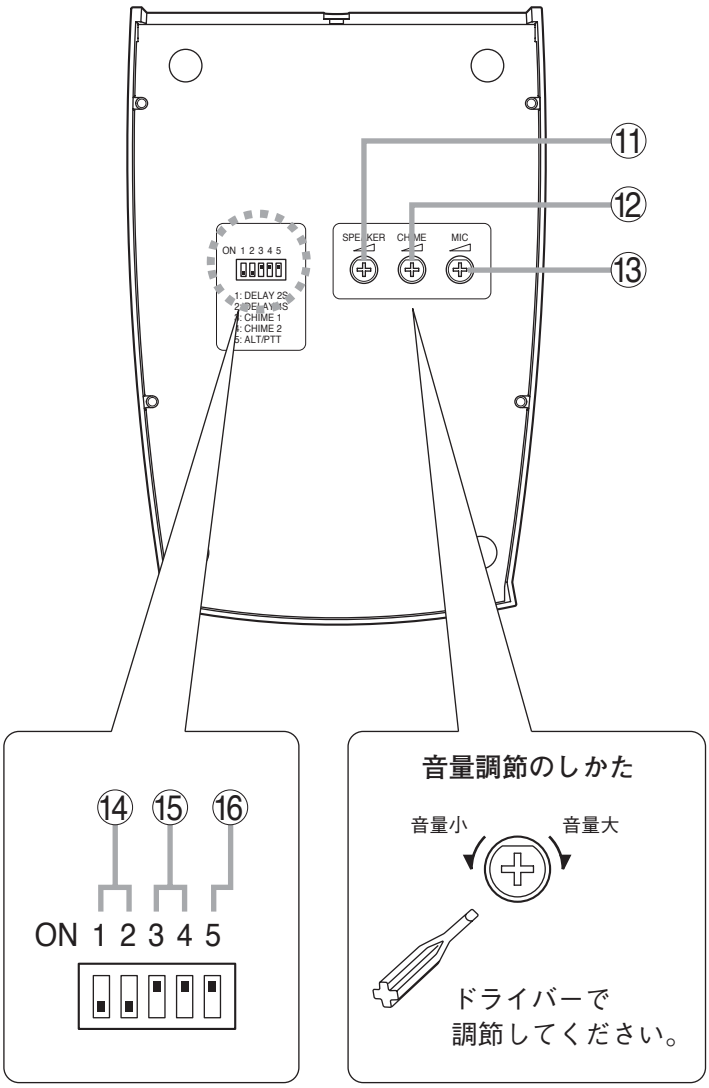
- 本機および AC アダプター（別売品）は、ラジオやワイヤレスチューナー機器などからできるだけ離して使用してください。受信障害を引き起こすことがあります。
- ケースを開けたり、改造したりすると、故障の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。
- 本機に付属の CD-ROM はオーディオ用ではありません。一般のオーディオ用 CD プレーヤーでは使用しないでください。
- 市販の音楽やサウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することが禁じられています。使用時には、著作権の専門家に相談するなどの配慮をお願いします。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

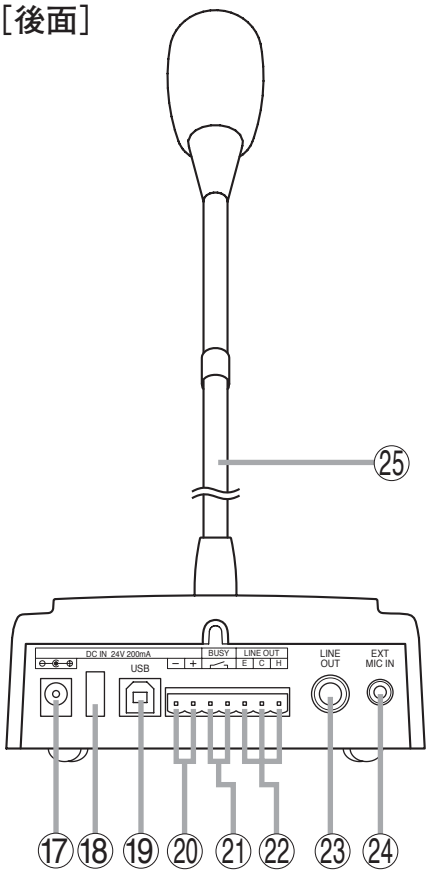
［正面］



［底面］



［後面］



［前面］

① **録音キー［REC］**
放送内容を録音するときに押します。

② **録音表示灯**
録音中に、点滅または点灯します。

③ **モニターキー［MONITOR］**
録音した内容を確認するときに押します。

④ **モニター表示灯**
録音内容を確認中に、点滅または点灯します。

⑤ **再生キー［PLAY］**
録音した内容を放送するときに押します。

⑥ **再生表示灯**
録音内容を放送中に、点滅または点灯します。

⑦ トークキー［TALK］
録音内容を放送せずに、直接マイク放送するときに押します。

⑧ トーク表示灯
トークキー⑦を押して放送している間、点滅または点灯します。

⑨ モニタースピーカー
録音内容を確認するためのスピーカーです。

⑩ USB 通信表示灯［USB］
USB で通信中に、点滅または点灯します。

［底面］

⑪ スピーカー音量調節器［SPEAKER］
モニタースピーカー⑨の音量を調節します。

⑫ チャイム音量調節器［CHIME］
チャイムの音量を調節します。

⑬ マイク音量調節器［MIC］
マイクロホン㉕の音量を調節します。

⑭ 遅延時間設定スイッチ［1、2］
放送起動から実際に放送を開始するまでの遅延時間を設定します。
付属のソフトウェアでインターバルが設定されているときは、インターバル中（繰り返し放送間隔）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。ただし、ビジー出力をOFF に設定すると遅延時間は 0 秒になります。（☞ P. 8）
工場出荷時は、「0 秒」およびインターバル中のビジー出力「ON」に設定されています。

⑮ チャイム設定スイッチ［3、4］
放送前後のチャイムの入り切りを設定します。
「3」（CHIME 1）：放送の前のチャイム
「4」（CHIME 2）：放送の後のチャイム
工場出荷時は、両方とも ON（放送の前後にチャイムあり）に設定されています。（☞ P. 8）

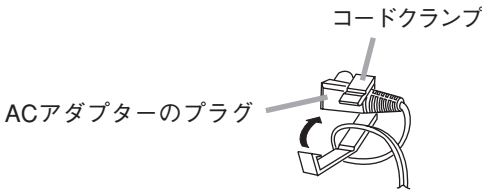
ご注意
チャイム設定スイッチを「なし」側にすると、チャイム音は録音されませんが、録音時はタイミングを取りやすくするためにチャイム音が鳴ります。

⑯ トークキー動作切換スイッチ［5］
トークキー⑦の動作を切り換えます。（☞ P. 11）
工場出荷時は、ON（押すとマイクが ON、もう一度押すと OFF）に設定されています。

［後面］

⑰ AC アダプター入力端子［DC IN］
別売の AC アダプター AD-246 を接続します。
メ　モ　DC 電源入力端子⑳と同時に接続しているときは、電圧の高い方が優先されます。

⑱ コードクランプ
AC アダプターのプラグが抜け落ちないように、コードを巻きつけて固定します。



⑲ USB 端子［USB］
USB ケーブル（付属品）を使って、パソコンや USB ハブと接続します。

⑳ DC 電源入力端子［DC IN］
DC24 V 電源を接続します。

㉑ ビジー出力端子［BUSY］
放送中、メイク接点を出力します。
また、付属のソフトウェアでインターバルが設定されているときは、遅延時間設定スイッチ⑭により、インターバル中（繰り返し放送間隔）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。
接点容量： DC30 V、0.5 A

㉒ ライン出力端子［LINE OUT］
本機の再生内容を出力します。（☞ P. 13）
0 dB、600 Ω、平衡
ご注意　ライン出力ジャック㉓と同時に使用しないでください。

㉓ ライン出力ジャック［LINE OUT］
ライン出力端子㉒と同じ内容を出力します。
0 dB、600 Ω、平衡、ホーンジャック
ご注意　ライン出力端子㉒と同時に使用しないでください。

㉔ 外部マイク入力端子［EXT MIC IN］
ヘッドセットマイクロホン WH-4000A（別売品）を接続します。（☞ P. 12）
–37 dB、2.2 kΩ、不平衡、ミニジャック
ご注意　WH-4000A 以外は使用しないでください。故障の原因となります。

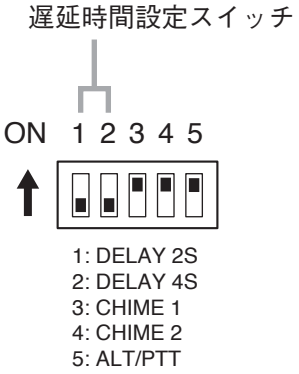
㉕ マイクロホン
単一指向性グーズネックマイクロホン（本体取付済み）です。

放送の遅延時間とビジー出力ON/OFFを設定する

メッセージが起動されてから再生を開始するまでの遅延時間を、本機の底面にある遅延時間設定スイッチで設定できます。遅延時間は、「0秒」「2秒」「4秒」のいずれかに設定できます。
また、付属のソフトウェアでインターバルが設定されているときは、インターバル中（繰り返し放送間隔）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。
※ 工場出荷時は、「0秒」およびインターバル中のビジー出力「ON」に設定されています。

外部機器の動作遅延により、再生内容の頭切れが起こる場合は、遅延時間を「2秒」または「4秒」に設定してください。

メ　モ　遅延時間を「2秒」または「4秒」に設定したときは、遅延の間もビジー出力端子がメイクされます。

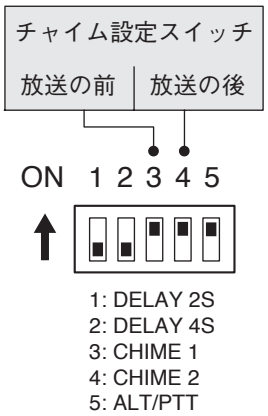


設定遅延時間	遅延時間設定スイッチ	インターバル中のビジー出力*
0秒（工場出荷時）	ON 1 2	ON（メイク）
2秒	ON 1 2	ON
4秒	ON 1 2	ON
0秒	ON 1 2	OFF（ブレイク）

* 付属のソフトウェアでインターバルが設定されているときのみ有効

チャイムの有無を設定する

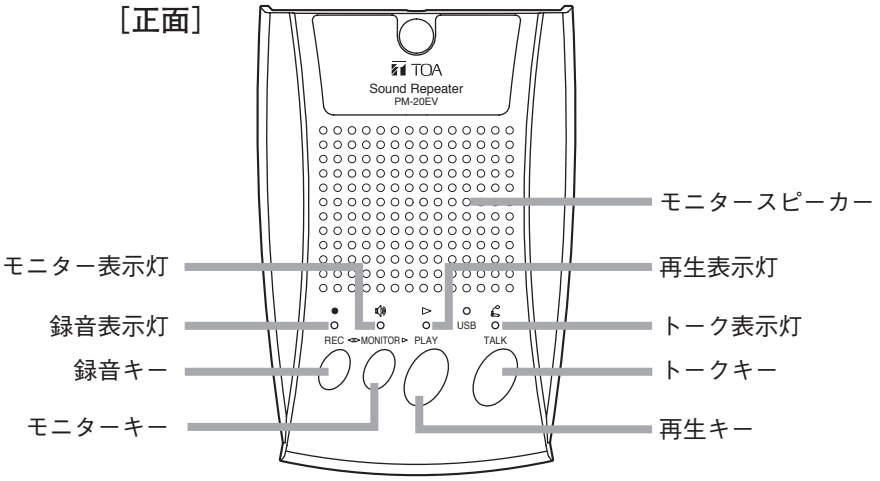
録音放送および直接放送の前後にチャイムを鳴らすかどうかを、本機の底面にあるチャイム設定スイッチで設定できます。
※ 工場出荷時は「放送の前後にチャイムあり（両方ともON）」に設定されています。



チャイム	チャイム設定スイッチ
放送の前：あり 放送の後：あり （工場出荷時）	ON 3 4
放送の前：あり 放送の後：なし	ON 3 4
放送の前：なし 放送の後：あり	ON 3 4
放送の前：なし 放送の後：なし	ON 3 4

メ　モ　工場出荷時は、放送の前は上り4音チャイム、放送の後は下り4音チャイムが入っています。
付属CD-ROMにあるデータ転送ソフトウェアを使って、チャイム音を変更することもできます。
詳しくは、CD-ROM内にある「EV20ソフトウェア取扱説明書.pdf」をお読みください。

操作のしかた



■ 録音する（REC）

内蔵のフラッシュメモリーにメッセージを録音します。録音できる時間は、チャイムを含めて約6分間です。
録音回路には、AGC回路が組み込まれていますので、録音レベルの調節は不要です。

ご注意 チャイム設定スイッチを「なし」側にすると、チャイム音は録音されませんが、録音時はタイミングを取りやすくするためにチャイム音が鳴ります。

1 **録音キーを録音表示灯が点滅するまで押し、点滅が点灯に変わったら、マイクロホンに向かって録音を開始する。**
キーを押し始めてから1秒後に表示灯が点滅します。点滅を始めてから数秒後にチャイムが鳴ります。
チャイムが鳴り終わったら、点滅から点灯に変わります。

2 **録音を停止させるときは、録音キーをもう一度押す。**

メ　モ

- 録音中に録音可能な残り時間が5秒以下になると、録音表示灯が録音終了まで点滅します。
- 録音内容を消去するときは、録音キーを押し、録音表示灯が点滅中にもう一度録音キーを押してください。
- 付属CD-ROMの「サンプルメッセージ」にはメッセージやチャイム音のサンプルが収録されており、本機に転送して使用することができます。
  また、付属CD-ROMにあるデータ転送ソフトウェアを使って、メッセージやチャイム音をバックアップすることもできます。詳しくは、CD-ROM内にある「EV20ソフトウェア取扱説明書.pdf」をお読みください。

■ 録音内容を確認する（MONITOR）

録音した内容を確認します。
確認中は、本機のモニタースピーカーからのみ出力され、ビジー出力およびライン出力端子には出力されません。

1 **モニターキーを押す。**
モニター表示灯が点滅から点灯に変わり、確認再生を開始します。

2 **確認再生を停止させるときは、モニターキーをもう一度押す。**

■ 録音内容を放送する（PLAY）

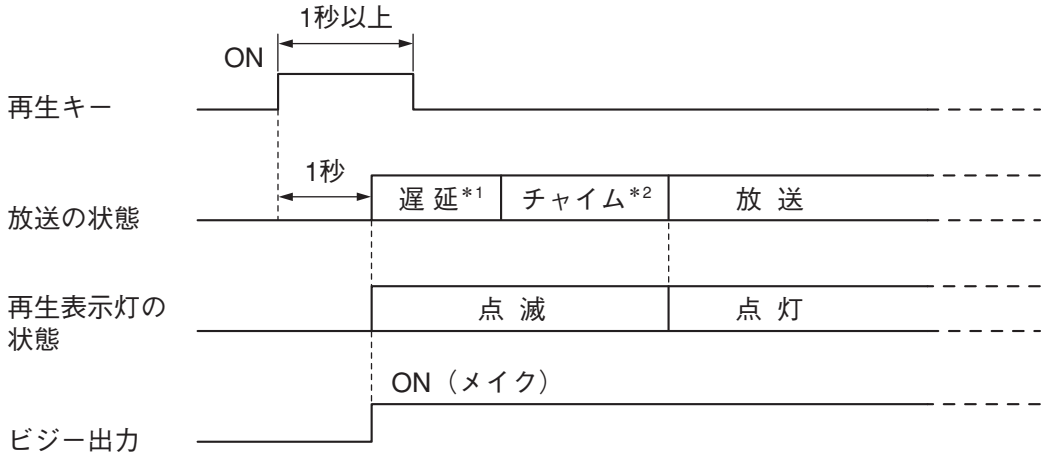
録音した内容を放送します。
放送は、ライン出力端子から出力されます。放送中はビジー出力端子からメイク接点が出力されます。
また、付属のソフトウェアでインターバルが設定されているときは、インターバル中（繰り返し放送間隔）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。

1 再生キーを、1秒以上押す。

表示灯が点灯になると、録音内容が放送されます。
録音内容が終わると自動的に終了し、表示灯が消灯します。

2 放送の途中で停止させるときは、再生キーをもう一度押す。

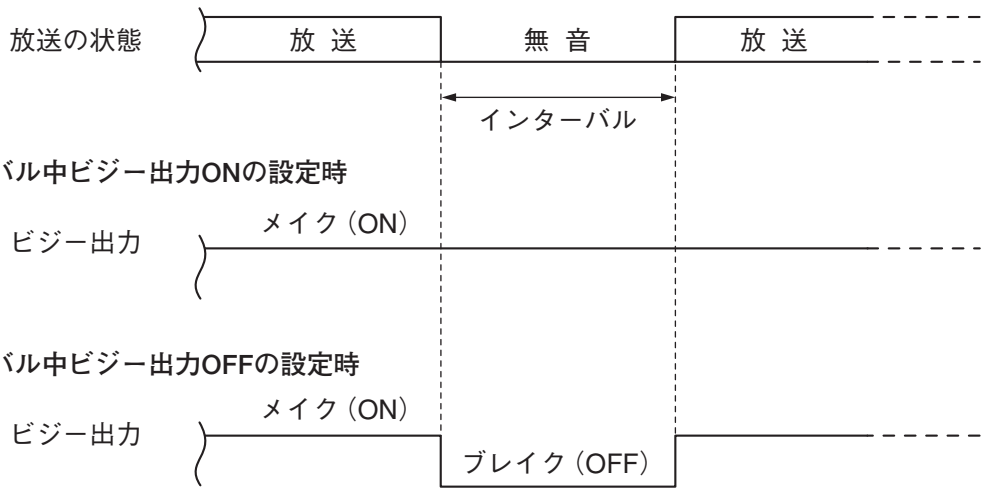
［再生キー操作後の本機の状態］



*1 遅延時間設定スイッチにより、0秒、2秒、4秒のいずれかに設定されます。
*2 設定されているチャイムによって、時間が変わります。

［繰り返し放送時の本機の状態］

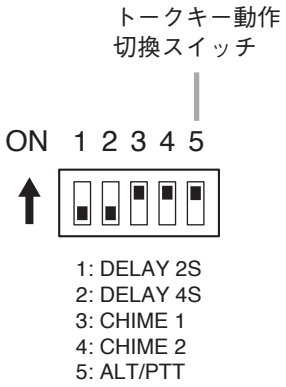
付属のソフトウェアでインターバルを「no repeat」以外に設定すると、繰り返し放送になります。
遅延時間設定スイッチにより、インターバル中（繰り返し放送間隔）のビジー出力をメイク（ON）またはブレイク（OFF）に設定できます。ただし、インターバルを0秒に設定すると遅延時間設定スイッチの設定に関係なく、放送中はビジー出力メイクになります。



■ 直接放送する（TALK）

録音内容を放送せずに、トークキーを使ってマイクロホンから直接放送します。

本機底面にあるトークキー動作切換スイッチで、トークキーの動作を設定できます。
※ 工場出荷時は、「ON」に設定されています。



トークキー動作切換スイッチ	設 定 内 容
ON 5	「ON」※ 工場出荷時 トークキーを押すと、放送できます。 （マイクはONの状態で保持されますので、キーから指を離してもかまいません。） もう一度押すと、放送を終了します。
ON 5	「OFF」 トークキーを押している間、放送できます。 トークキーを離すと、放送を終了します。

● トークキー動作切換スイッチが ON のとき（工場出荷時）

1 トークキーを 1 秒間押し、その後表示灯が点灯になったら、マイクロホンに向かって放送する。

メ　モ

チャイム「あり」に設定されているときは、キーを押し始めてから 1 秒後に表示灯が点滅し、チャイムが鳴ります。
チャイムが鳴り終わったら、表示灯が点滅から点灯に変わり、マイク放送ができます。

2 トークキーをもう一度押して、放送を終了する。

チャイム「あり」に設定されているときは、表示灯が点滅に変わり、チャイムが鳴ります。

● トークキー動作切換スイッチが OFF のとき

1 トークキーを押し続け、表示灯が点灯になったら、マイクロホンに向かって放送する。

メ　モ

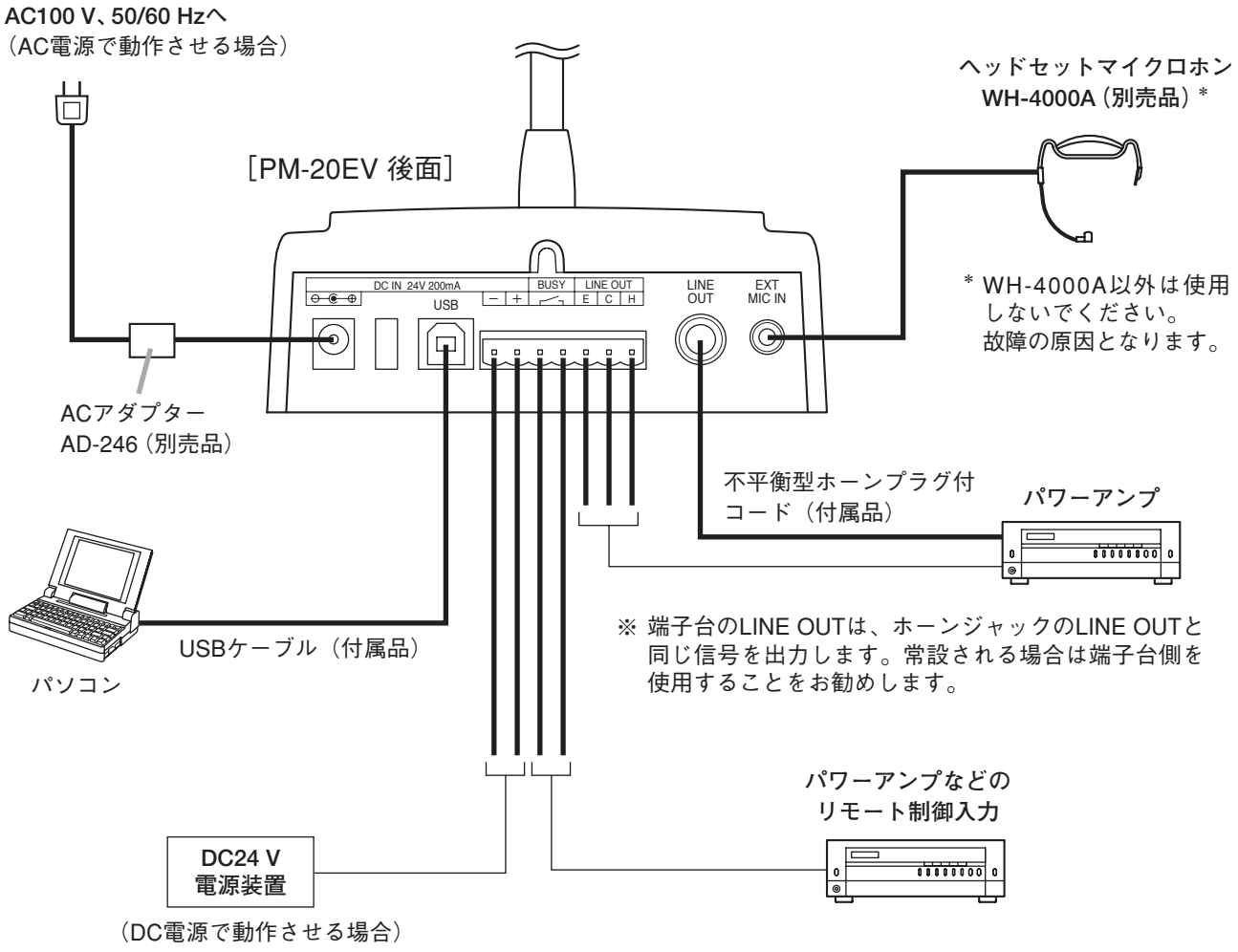
表示灯が点滅してもキーから指を離さないでください。
チャイム「あり」に設定されているときは、キーを押し始めてから 1 秒後に表示灯が点滅し、チャイムが鳴ります。
チャイムが鳴り終わったら、表示灯が点滅から点灯に変わり、マイク放送ができるようになります。

2 トークキーから指を離して、放送を終了する。

チャイム「あり」に設定されているときは、表示灯が点滅に変わり、チャイムが鳴ります。

接続のしかた

■ 接続例



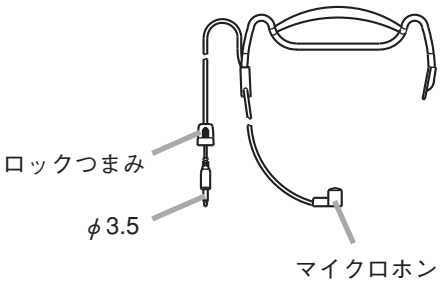
※ AC 電源と DC 電源を同時に使用するときは、電圧の高い方が優先されます。

■ 外部マイクを接続する

本機後面の外部マイク入力端子に、別売のヘッドセットマイクロホン WH-4000A を接続して放送することもできます。

ご注意

- 外部マイクを接続すると、本体マイクからは放送できません。
- ヘッドセットマイクロホン WH-4000A を使用するときは、マイクから 1 cm 程度の距離で、大きめの声で話してください。
  また、WH-4000A にはプラグ固定用のロックつまみがありますが、本機では使用しません。そのままお使いください。



■ 後面コネクターへの結線

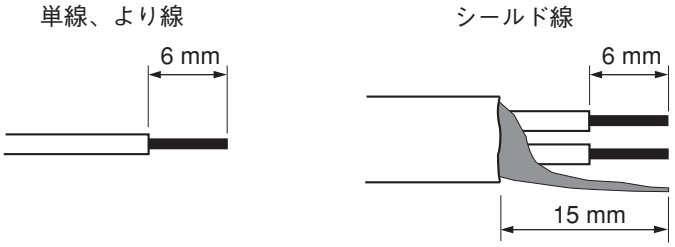
ご注意

- コネクター結線用ねじに合った適切なドライバーを使用してください。
- より線、シールド線を使用するときに、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。
  線材を締め付けたときに、はんだスズが破砕し接触抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇することがあります。

● 接続電線サイズ

導体断面線	0.5 ～ 1.5 mm²
AWG	AWG24 ～ 16 相当

● 線材のむきしろ

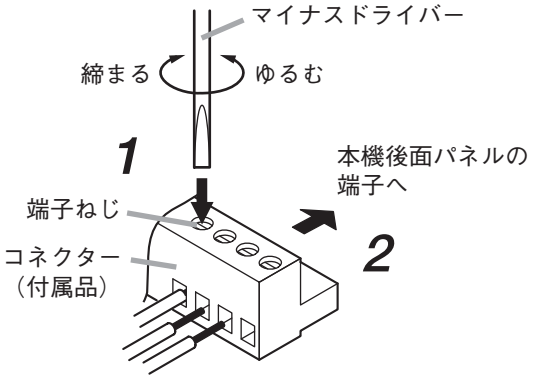


● 結線のしかた

1 **端子ねじをゆるめて線材を差し込み、端子ねじをしっかりと締め付ける。**

※ 線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
抜けた場合は、端子ねじをゆるめ、やり直してください。

2 **コネクターを後面パネルの端子に差し込む。**



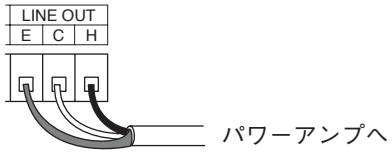
ご注意

- 手順1と2を逆にしないでください。
  端子ねじを締め付けるときに、内部基板のコネクターピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。
- 未使用のねじも締め付けてください。
  ねじの緩みがあると、モニタースピーカーからの音による振動で、ビビリ音が発生することがあります。

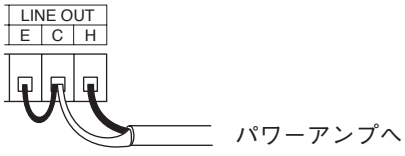
● ライン出力端子の接続

ライン出力端子は、内部でライン出力ジャックと並列接続されています。両方を同時に使用しないでください。

［アンプ側が平衡のとき］



［アンプ側が不平衡のとき］



メ　モ

ライン出力ジャックを使用するときは、同様にアンプ側でE（アース）とC（コールド）をショートさせてください。

付属ソフトウェアを使用するとき

本機は、USB インターフェースを装備しています。
付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続すると、次のことができます。

- 付属の CD-ROM に収録されているサンプルメッセージを、ダウンロードして使用する。
- 録音したデータを、パソコンにアップロードする。（録音データのバックアップ）
- パソコンにバックアップしたデータを、ダウンロードする。

付属ソフトウェアの使いかたは、CD-ROM 内にある「EV20 ソフトウェア取扱説明書.pdf」をお読みください。

■ システムの条件

本機のソフトウェアを正常に動作させるために、パソコンは以下の条件を推奨します。

対応パソコン	IBM-AT 互換機（USB 端子装備）
パソコン仕様	CPU ：133 MHz 以上またはそれ以上の Pentium 互換 CPU メモリー ：64 MB 以上（128 MB 以上 推奨） 空きディスク容量 ：10 MB 以上（メッセージ保存用を除く）
使用 OS	Windows 2000／XP

※ Pentium は、Intel Corporation の商標です。
※ Windows は、Microsoft Corporation の商標です。

■ CD-ROM のファイル構成

本機に付属の CD-ROM のファイル構成は、以下のとおりです。

- CD-ROM
  - Driver — 本機とパソコンを USB 接続するために必要な USB ドライバーが格納されています。
  - ReadmeJPN.txt — 付属ソフトウェアの動作環境や更新履歴などを記載しています。ソフトウェアを使用する前にお読みください。
  - Japanese — 日本語版の以下のフォルダーとファイルが格納されています。
    - サンプルメッセージ — サンプルメッセージのデータが格納されています。
    - サンプルメッセージ一覧.pdf * — サンプルメッセージの内容の一覧です。
    - EV20 — 下記の「サウンドリピーターメッセージライブラリー.htm」を動作させるために必要なファイルが格納されています。
    - サウンドリピーター メッセージライブラリー.htm — パソコン上でサンプルメッセージを試聴するときに使用します。
    - EV20.msi — データ転送ソフトウェアをインストールするときに使用します。
    - EV20 ソフトウェア取扱説明書.pdf * — データ転送ソフトウェアの取扱説明書です。ソフトウェアをインストールした後は、こちらをお読みください。

* このファイルを表示させるためには、Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader がインストールされていない場合は、Adobe の Web サイトからダウンロードしてください。

※ Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

■ ソフトウェア使用上のご注意

本機が次の状態にあるときは、電源の入り切り、またはUSBケーブルの抜き差しをしないでください。
パソコンが停止することがあります。

- ドライバーまたはドライバーのインストール中
- OSの起動中、または終了の途中
- サスペンド、レジューム中
- 本機とパソコン間のデータ転送中

また、次のことを行ったときにも、パソコンが停止することがありますので、行わないでください。

- 頻繁な電源の入り切り
- 頻繁なUSBケーブルの抜き差し

■ ソフトウェアのインストール

USBの機能を使用するためには、パソコンにソフトウェアを正しくインストールしてください。

インストールするソフトウェアは、**USBドライバー** と **データ転送ソフトウェア** の2種類です。

メ　モ　使用するパソコンのCD-ROMドライブのドライブ名（E:、F:など）をあらかじめ確認してください。
ドライブ名は、［マイコンピュータ］内のCD-ROMアイコンの近くに表示されています。

● USBドライバーのインストールのしかた

1 **パソコンを起動する。**

2 **付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブに挿入する。**

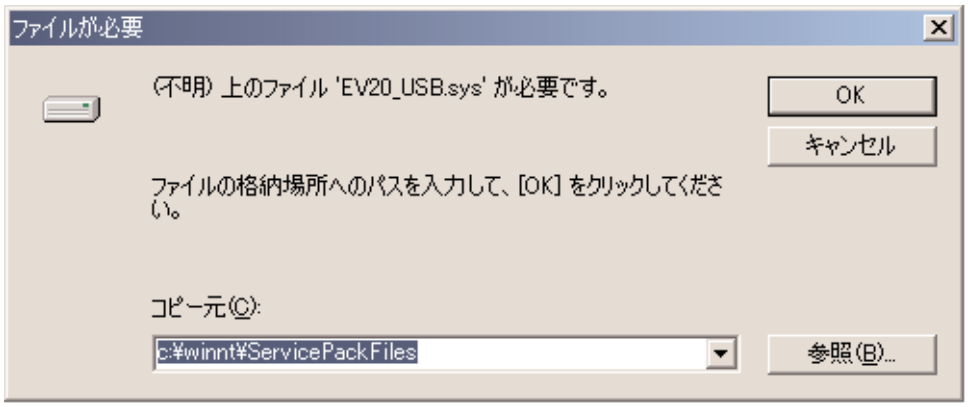
3 **本機の電源が切れていることを確認する。**

4 **付属のUSBケーブルを使って、本機前面のUSB端子と、パソコンまたはUSBハブのUSB端子を接続する。**

5 **本機に電源を供給する。**
パソコンに、下のような画面が表示されます。

数秒後、下のような画面が表示されます。

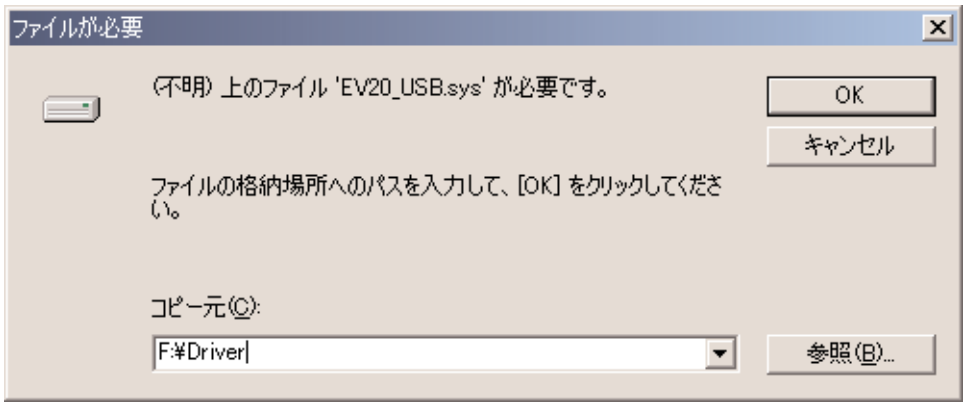
数秒後、下のような画面が表示されます。



6 コピー元を選択する。

［コピー元］の▼をプルダウンして、CD ドライブ内の「¥Driver」を選択します。

ご注意 ドライブ名は、使用するパソコンによって異なります。



7 ［OK］ボタンをクリックして、ドライバーのインストールを開始する。

数秒後に画面が消え、ドライバーのインストールを終了します。

［USB ドライバーがインストールできないときは］

調べるところ	処　置
USB ケーブルは正しく接続されていますか？	USB ケーブルをいったん引き抜き、もう一度差し込んでください。
ご使用のパソコンが、USB 使用可能な状態になっていますか？	本機とパソコンを接続するときに、「USB ドライバーのインストールのしかた」手順 5 の画面が表示されないときは、パソコン側の設定が USB を使用しないように設定されている場合があります。 次の方法で、パソコンの設定を確認してください。 ***1*** ［マイコンピュータ］ー［コントロールパネル］から［システム］を開く。 ***2*** ［ハードウェア］の中の［デバイスマネージャー］をクリックする。 ***3*** ［USB コントローラー］や［USB ルートハブ］に、「！」や「×」がないことを確認する。 「！」や「×」が表示されているときは、USB が使用できるように設定してください。設定のしかたは、パソコンの取扱説明書をお読みください。
不明なデバイスが登録されていませんか？	ドライバーを正しくインストールできなかったとき、本機は「不明なデバイス」として認識されてしまうことがあります。その後は、インストールができなくなることがあります。 次の方法で、「不明なデバイス」を削除してください。 ***1*** ［マイコンピュータ］ー［コントロールパネル］から［システム］を開く。 ***2*** ［ハードウェア］の中の［デバイスマネージャー］をクリックする。 ***3*** ［表示］をクリックして、［デバイス（種類別）（E)］を選択する。 ***4*** ［その他のデバイス］がないかを確認する。 ***5*** ［その他のデバイス］があるときは、そのタブをクリックする。 その下に［不明なファイル］があるときは、それを選択して削除する。 ***6*** USB ケーブルをいったん抜き取り、もう一度差し込んでからインストールし直す。

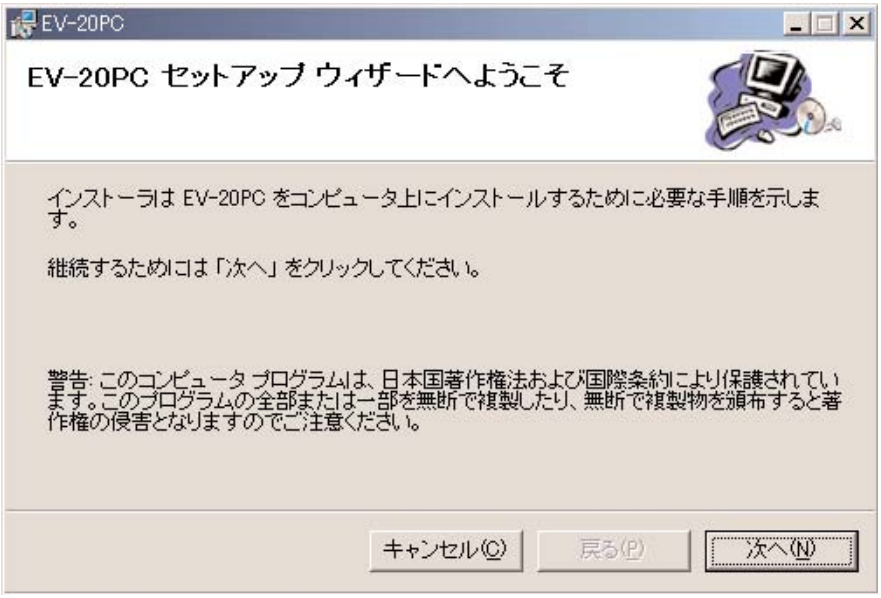
● データ転送ソフトウェアのインストールのしかた

1 パソコンを起動する。

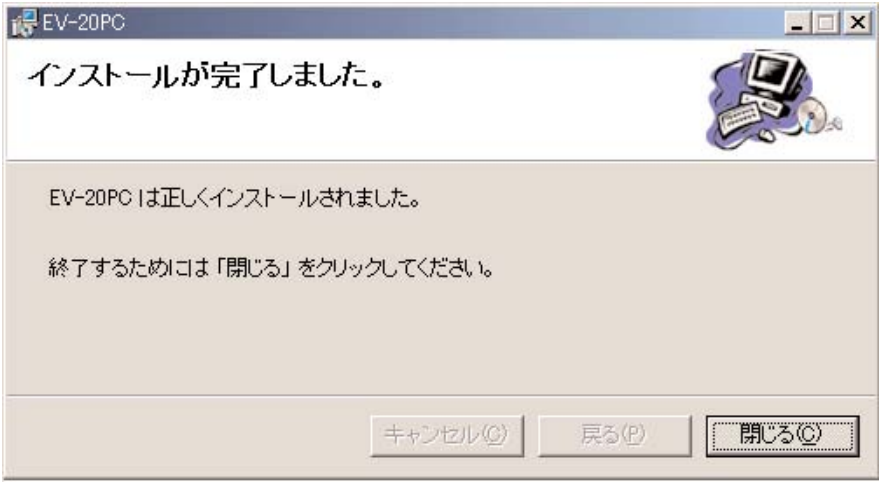
2 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブに挿入する。

3 デスクトップ上の［マイコンピュータ］から［CD-ROM ドライブ］をダブルクリックする。

4 ［Japanese］を選択し、［EV20.msi］をダブルクリックする。
パソコンに、下のような画面が表示されます。



5 インストールが完了するまで、画面の指示に従って［次へ］ボタンをクリックする。



データ転送ソフトウェア「EV20man.exe」ファイルが、指定フォルダー（デフォルトは、C:¥Program Files¥EV-20PC¥ ）にインストールされました。

6 ［閉じる］ボタンをクリックする。
画面が消え、ソフトウェアのインストールを終了します。
「EV20man.exe」ファイルが、正常にインストールされていることを確認してください。

仕　様

電　　源	外部電源 DC24 V、200 mA または AC アダプター AD-246（別売）より供給
消 費 電 力	5 W
音 源 方 式	44.1 kHz サンプリング 16 bit PCM 方式（モノラル）
周 波 数 特 性	50 ～ 20,000 Hz ±3 dB（1 kHz 基準）
歪　　率	1%以下（1 kHz 定格出力時）
録 音 方 式	USB データ転送またはアナログ録音
制 御 出 力	ビジー：接点容量 DC30 V／0.5 A、ターミナルブロック型コネクター
入　　力	単一指向性グーズネックマイクロホン（本体取付済み） 外部マイク：–37 dB *、2.2 kΩ、不平衡、ミニジャック
出　　力	ライン出力　：0 dB *、600 Ω、平衡、ホーンジャック 0 dB *、600 Ω、平衡、ターミナルブロック型コネクター モニタースピーカー（内蔵）：0.2 W
表 示 L E D	USB、REC、MONITOR、PLAY、TALK
内 蔵 チ ャ イ ム	2（上り 4 音、下り 4 音）、ON／OFF 設定可能
最大メッセージ数	1
最 大 録 音 時 間	6 分（チャイムを含む）
メッセージ遅延時間	0、2 秒、4 秒に設定可能
仕　　上　　げ	ケース：ABS 樹脂、シルバー
寸　　法	122（幅）×48.8（高さ）×180（奥行）mm　（マイク部および突起部を除く）
質　　量	710 g

［ソフトウェア動作環境］

対 応 パ ソ コ ン	IBM-AT 互換機（USB 端子装備）
パ ソ コ ン 仕 様	CPU　：133 MHz 以上またはそれ以上の Pentium 互換 CPU メモリー　：64 MB 以上（128 MB 以上 推奨） 空きディスク容量　：10 MB 以上（メッセージ保存用を除く）
使　用　O　S	Windows 2000／XP

* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※ Pentium は、Intel Corporation の商標です。
※ Windows は、Microsoft Corporation の商標です。
※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

● 付属品

CD-ROM …… 1
USB ケーブル（1 m）…… 1
不平衡型ホーンプラグ付コード（2 m）…… 1
ターミナルブロック型コネクター（7P）…… 1

● 別売品

AC アダプター　：AD-246
ヘッドセットマイクロホン：WH-4000A

TOA

TOA インフォメーションセンター

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間　9：00 ～ 17：00（日曜・祝日除く）

フリーダイヤル（無料電話）
TEL. 0120 - 108 -117
〒665-0043 宝塚市高松町２番１号
TEL.（0797）72-7567
FAX.（0797）72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

133-12-820-4B